

高い倫理観持つ 資格者を育成

埼玉県内5校

総合資格学院を運営する総合資格(岸隆司社長)は9日、さいたま市の大宮サンパレスで埼玉県内5校(さいたま、熊谷、越谷、川越、所沢)の2011年度合格祝賀会を合同で開いた。1級建築士の1都3県(東京、神奈川、埼玉、千葉)合格者2017人のうち、同学院受講生合格者は半数以上の1107人を占め、9年連続で占有率1位となっ

ている。埼玉県の1級建築士合格者は306人で、うち同学院受講生は170人(占有率55・6%)だった。

祝賀会では5校を代表し、川越校の増田裕吉学校長(支店長)が「高い倫理観をもった有資格者を育成するため積極的に取り組んでいきたい。日本の基幹産業である建設業がより発展していくためにも若い力が必要。これは私どもに課せられた使命でもあり、関係建築団体、有資格者の皆さまと一緒に頑張っていききたいと考えている」と

あいさつした。

続いて、来賓の高橋庫治埼玉建築士会長、駒木修一埼玉県建築士事務所協会副会長、桑子喬埼玉建築設計監理協会長が祝辞を述べ、合格者の今後の活躍に期待を寄せた。

乾杯のあと、合格者を代表して和泉淳司さん、島田光教さん、田中香織さんの3人が喜びを語った。和泉さんは一条工務店(川越展示場)に勤



喜びを分かち合う合格者ら

務し、現場監督をしながら1級建築士の資格を取得。「熱心な講師陣の指導のもと、総合資格で得た知識を忘れないようにテキストを読み込んだ。会社に入って2年目に2級、3年目に1級と順調に取得できた」と振り返り、「若い力で建築業界を盛り上げていきたい」と将来へ希望を膨らませていた。

島田さんは「今回駄目ならあきらめるぐらいの不退転の決意で2級建築士を取得した。効率の良さとボリューム感の双方を備えた受講内容で、勉強しててすごく感じが良かった」と述べ、今後、1級建築士の資格取得にもチャレンジする考えを示した。

この後、記念撮影が行われ、合格者や関係者らが建設業界への新たな出発を祝福し合った。志浪清文北関東本部長(さいたま支店長)は「建築士が社会の中でより身近に、さまざまな分野でプレゼンしていけるような存在になれるよう、お手伝いしていきたい」と話していた。